

# Shared Ground

Design with Japan

by Noelani Rutz & Anthony Guex



# Shared Ground

岐阜県の丘陵地、歴史ある美濃地区に位置する多治見は、1300年を超える陶磁器の伝統を育んできました。この文化的遺産は、地域に豊富に存在する良質な粘土層、水資源に根ざしており、それらは陶磁器の素材的特性としてだけでなく、この地域の文化的アイデンティティの形成にも大きな影響を与えてきました。多治見は単なる生産地というだけでなく、地元の職人と国際的なデザイナーが出会い、協働する場でもあります。過去と現在、東洋と西洋、手仕事と技術をつなぐ、Shared ground (共創の場) です。この秋、東京で、「Shared Ground (共創の場)」という総称のもと、変化をし続ける対話に多様な視点をもたらす二つのエキシビション「Design with Japan」と「Tile Works」が同時に開催されます。会場では、多治見の製造業者や職人とデザイナーが協働して生み出したオブジェ、試作品、製品が紹介されます。これらの作品はどれも、伝統への深い敬意と実験への好奇心を反映しており、伝統産業を現代の生活に会う形で再解釈しようとする試みとなっています。

この展示は、国際的デザイナーが地元のパートナーと協働して生み出したプロジェクトを紹介する窓口となります。各展示作品は、新しい視点によって形作られながらも、多治見の時を超えた本質に根ざしており、伝統への相互の敬意と実験への共通の好奇心を体現しています。



# Design with Japan

## by Noelani Rutz & Anthony Guex

スイスのデザイナー、ノエラーニ・ルッツは、Tajimi Custom Tiles と提携し、地元のタイルメーカーと“雪”に着想を得た詩的なタイルシリーズとシェルフシステムを開発しました。このモチーフは、スイスと日本、両国の風景に共鳴しています。

アントニー・ゲは、名高いテーブルウェアメーカーの株式会社深山と協働し、洗練されたテーブルウェアのコレクションを制作しました。日常の所作に根ざしたこれらの作品は、スイスのミニマリズムと日本の職人技を融合させ、フォルムと機能の調和を実現しています。

両デザイナーとも Design with Japan に参加しています。このプログラムは、スイスの新進のデザイナーと日本の製造業者とのつながりを築くことを目的とし、異文化間のコラボレーション環境を育むことで、デザインの可能性を押し広げることを目指しています。第1回は多治見で開催され、デザイナーと地元の製造業者が手を取り合いながらプロジェクトを展開しました。

本プログラムは、在日スイス大使館およびスイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団が主催し、Tajimi Custom Tiles および多治見エリアのメーカーの協力のもと実施されました。



# Designers

Noelani Rutz ノエラーニ・ルッツ

スイス・チューリヒを拠点に活動するプロダクトデザイナー。shigeki fujishiro design (日本)、Jörg Boner productdesign (スイス) で経験を積み、2023年に自身のスタジオをオープン。細部にわたるシンプルさに鋭い目を向ける実践的なアプローチは、伝統的な工芸品、素材の研究、実用的なソリューションを思慮深く組み合わせることを重視している。

@noelanirutz

<https://noelanirutz.com/>

Anthony Guex アントニー・ゲ

スイス・ローザンヌを拠点に活動するプロダクト/インテリアデザイナー。家具職人、木材産業で7年以上の経験を経て、ジュネーブ造形芸術大学(HEAD)でインテリアデザイン、ローザンヌ美術大学 (ECAL) でプロダクトデザイン学び、現在は自身のスタジオと ECAL の副担当官として活動。New Tendency、Okro、Tectona、Ecal、カナダ・ニューファンドランドの Fogo Island Workshops など国際的なブランドとのコラボレーションを多く手掛けている。

@anthonyguex

<https://anthonyguex.ch/>



# Project: Fleeting Landscapes

## by Noelani Rutz

スイスと日本の冬の景色をつなぐこのプロジェクトは、雪がもつ二重の性質を探求するものです。雪は、記憶や文化の中では永続的ですが、現実では儚い存在です。スイスと日本、その距離は離れていても、両地には深いつながりがあります。雪の一時的な存在を観察し、それに適応してきたという長い伝統があるのです。「Fleeting Landscapes (儚い風景)」は、雪の儚い特性を新しい素材に置き換えることで表現しています。温度や時間に耐える粘土は、形や質感の儚さを保つことができます。雪そのものを型取りした作品であれ、釉薬を通して観察を翻訳した作品であれ、このシリーズは雪の季節的・生態的な脆さや消えゆく存在を語り、変化を静かに思い起こさせます。

メーカー：杉浦製陶株式会社

1950年に岐阜県多治見市で創業された老舗タイルメーカーです。モザイクタイルの製造から始まり、美濃焼の技術を活かした高品質なタイルづくりを70年以上にわたり継承。約10万㎡の敷地にて企画から製造までを一貫して行い、「色・形・性能」にこだわった多品種・小ロット生産を実現しています。



# Project: Tile Shelving System

by Noelani Rutz

単なるタイル以上の存在として、壁からわずかに突き出す形状は、オブジェを置くための棚として機能します。リズムカルに並べても、単独のアクセントとして配置しても、空間に奥行きと広がりをもたらします。住空間だけにとどまらず、商業施設においてもショップやギャラリーなどで商品をディスプレイする用途に活用できます。

地元で採取された粘土を使用して制作されたタイルは、L字型に押し出し、無釉のまま仕上げ、焼成の過程で生まれる粘土の色合いの微妙な差異や色ムラはあえてそのまま残しています。素材本来が持つ素朴な表情を魅力として生かすと同時に、洗練された建築的な美しさも持ち合わせています。

\*この作品は *Tajimi Custom Tiles* のエキシビション会場で展示をしています

メーカー：有限会社丸仙化学工業所 寿山

1898年（明治31年）に食器の製造工場として創業し、現在四代目。二代目の1930年（昭和5年）頃よりタイルの生産を開始。創業当初から自社で原料の粉碎・調合を行っており、大型粉碎機を導入した現在も、創業時の土の風合いを大切に調合を続けている。現在でも古来から伝わる「タタラ成形」を中心に、約一割は陶器の製造を行なっている。陶器づくりで培った技術を活かし建築物に永く調和し、愛され続ける商品づくりに取り組んでいる。

# Project: Tea Set

by Anthony Guex

このプロジェクトでは、磁器という素材そのものを探求し、私たちは常日頃どのようにそれと向き合っているのかを再考したいと思いました。伝統的に磁器は薄く成形されることが多いため、実際は丈夫ですが、繊細で壊れやすいものと認識されがちです。そこで私はあえて逆のアプローチでデザインしました。より密度とボリュームを持たせることで、その認識を変えようと思いました。磁器の、より重厚で彫刻的な一面を引き出す試みです。

形状は意図的にシンプルにしている、幾何学的かつミニマルに設計されています。建築的なボリュームを想起させながらも、親しみやすく、日常に取り入れやすいデザインです。直線と柔らかな曲線が交わり、静かでバランスの取れた緊張感を生み出します。この対比によって、それぞれの作品には独自のリズムと視覚的なダイナミズムが生まれ、日常空間の中でも自然に存在感を放ちます。

メーカー：株式会社深山

地域に培われた上質な白磁素材を、精緻に成形し高温で焼成する“ものづくりの技術”を受け継ぎ、1977年、美濃焼産地の中でも輸出用洋食器の生産が盛んである岐阜県瑞浪市に創業しました。テーブルウェアのメーカーとして、その技術を基礎として「うつくしいつわ」をテーマに、“やきものの魅力”と“道具としての機能性”が調和した、日常の暮らしのためオリジナルデザインの器を開発・製造しています。



# Design with Japan

スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団 と、在日スイス大使館が共同で運営する、協働型レジデンスプログラムです。本プログラムは、新進スイスデザイナーの革新的な力と日本の製造業者とのつながりを築くことを目的としています。プログラムの目標は、異文化間の協働環境を育み、デザインの可能性を押し広げることです。この協働は、一連のプロトタイプ開発、プロジェクト展示、そしてメディアでの発信を通じて具体化されます。

## “Design with Japan” edition 2024-2025

### 選考委員：

レティシア・デ・アレグリ／デザイナー

松澤剛／株式会社 E&Y 代表取締役

ダヴィッド・グレットリ／クリエイティブ・ディレクター、デザイナー

## スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

現代の専門的な芸術と文化の振興を目的としています。プロ・ヘルヴェティアは、スイス国内外における現代の専門的芸術の創作と発信、ならびに文化交流を支援しています。本部はチューリッヒにありますが、海外にも支部を通じて国際的に活動しています。

prohelvetia.ch @prohelvetia\_design

## 在日スイス大使館

スイスの公的代表機関である大使館の機能は、両国の外交に関与する全ての領域に及びます。大使館は、外交、経済と金融、法的処置、科学と教育、そして文化におけるスイスの利益を代表しています。

Vitality.Swiss でスイスの魅力を発信中。

vitality.swiss @swissembassyinJapan



# Design with Japan

## in collaboration with Tajimi Custom Tiles

### Tajimi Custom Tiles

多治見で作られるビスポークタイルー Tajimi Custom Tiles (以下、TCT) は、タイルの日本最大産地である岐阜県・多治見で、2020年にスタートしたオーダーメイドタイルのブランドです。複雑な形状から微妙な色調整まで、世界中の建築家やデザイナーの求めるタイルを、リクエストに合わせて制作するフルカスタムオーダーと、豊富なパレットから、形、表情、色味を組み合わせる選ぶセミカスタムオーダーが主軸のサービスです。

丁寧な対話によりものづくりを進め、さまざまな規模のクリエイティブなプロジェクトをサポートするために、小ロット生産や世界各国への出荷にも対応しています。

パートナーである多治見一帯の個性豊かなタイルメーカーと連携して行うものづくりは、ほかの地域ではあまり見られなくなった伝統的な成形／焼成技術、変化に富む釉薬表現が強みで、それにより複雑で表現力豊かなデザインが可能となり、建築家やデザイナーから「これは多治見でしか実現できない」と言わしめています。拠点である岐阜県多治見の本社には、プロトタイプ制作やリサイクルタイルの研究開発を行うラボ、Tajimi Custom Tiles ギャラリーも併設しています。

ギャラリーではこれまでのコラボレーション作品の展示やさまざまなタイルのサンプルをご覧いただけます。

[tajimicustomtiles.jp](http://tajimicustomtiles.jp)

[@tajimicustomtiles](https://twitter.com/tajimicustomtiles)



# Credit

Exhibition :  
Shared Ground  
Design with Japan  
by Noelani Rutz & Anthony Guex

会期 :  
2025 年 10 月 10 日 - 19 日

Venue:  
CIRCLE  
東京都渋谷区東 1-3-1  
カミニート 16 号

Curation and Mentorship | ダヴィッド・グレットリ  
Project Lead and Curation | イレーネ・山口  
Graphic Design | セバスチャン・フェア  
Photographer | 長谷川健太

主催 | 在日スイス大使館、スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

協力 | Tajimi Custom Tiles、株式会社深山、株式会社メソッド、スイス連邦外務省 プレゼンス・スイス

協賛 | クリエーション パウマン ジャパン株式会社、ソノヴァ・ジャパン株式会社、USM U. シェアラー・ソنز株式会社

## 【Press Contact】

竹形尚子 (デイリープレス)

03-6416-3201 naotakegata@dailypress.org

